



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日  
東

上場会社名 ギークス株式会社 上場取引所  
 コード番号 7060 URL https://geechs.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 曾根原稔人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐久間大輔 (TEL) 050-1741-6928  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月13日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	15,997	11.6	589	△48.0	567	△50.0	244	△65.4
2022年3月期	14,340	318.4	1,133	53.5	1,135	59.1	705	54.1

(注) 包括利益 2023年3月期 239百万円(△65.9%) 2022年3月期 703百万円(53.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	23.20	22.99	5.6	6.7	3.7
2022年3月期	67.18	66.17	17.0	19.3	7.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	8,451	4,439	50.8	416.94
2022年3月期	5,874	4,470	75.7	422.26

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,295百万円 2022年3月期 4,444百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	688	△1,560	1,274	3,755
2022年3月期	369	△68	△91	3,357

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	105	14.9	2.4
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	103	43.1	2.3
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00		42.9	

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	28,000	75.0	900	38.2	700	18.8	680	19.7	360	47.4	34.94

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	10,604,880株	2022年3月期	10,564,840株
② 期末自己株式数	2023年3月期	301,451株	2022年3月期	40,151株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	10,524,644株	2022年3月期	10,497,369株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	12,946	16.9	581	6.7	596	3.3	323	△11.2
2022年3月期	11,070	547.2	545	18.4	577	23.1	364	11.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	30.73		30.46					
2022年3月期	34.68		34.16					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	6,671		3,591		52.8	341.64		
2022年3月期	4,854		3,604		73.7	339.92		

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,520百万円 2022年3月期 3,577百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(企業結合等関係) .....	12
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループはグランドビジョンに「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、ITフリーランスのデータベース、グローバルで活躍するITエンジニア育成など人材インフラを活かし、インターネットの普及によりめまぐるしく変化する人々の生活や企業の行動を積極的に捉え、変化対応力を強みに、提供サービスの創造・進化を通じて常に成長し続けることで、持続的な企業価値向上を目指しております。当社グループは子会社6社を含む全4事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業」、「ゲーム事業」、「Seed Tech事業」、「x-Tech事業」の4つに分類されております。

当連結会計年度より、セグメント区分を変更しており、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数字で比較分析しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、原材料価格の上昇に伴う物価高など、景気の下振れリスクもあるものの、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、人流が回復し、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられました。ウィズコロナの新たな段階への移行が進む中、各業界における新しい生活様式の構築に向けたIT技術を活用した取り組みやデジタルトランスフォーメーションの推進によって、IT人材や個人のITスキル強化のニーズはますます高まっております。

このような状況下、当社グループは、2021年5月14日開示の中期経営計画「G100」（2022年3月期～2025年3月期）で掲げた方針に基づき、各種施策に継続的に取り組んでまいりました。

当連結会計年度においては、豪州にてIT人材サービス事業を展開しているLaunch Group Holdings Pty Ltd及びその子会社Launch Recruitment Pty Ltdを当社グループの連結子会社とし、また、フィリピンにてオフショア開発を請け負う新会社SEED TECH PHILIPPINES INC. を設立し、グローバル化を推進いたしました。技術リソースのシェアリングやIT人材育成サービス等によって、日本のIT人材不足を解決する会社となるべく事業体制を構築してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は15,997,838千円（前期比11.6%増）、営業利益は589,410千円（同48.0%減）、経常利益は567,920千円（同50.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は244,215千円（同65.4%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### <IT人材事業>

IT人材事業におきましては、事業は好調に推移いたしました。ITフリーランスの新規登録者数、新規取引企業数共に着実に伸長しております。ブランディングを目的としたタクシーや東京メトロ等の交通系広告や、積極的な広告投資の結果、IT関係以外の大手企業からの問い合わせが増加いたしました。また、組織強化のために人員を増員し、旺盛な需要に応えるための体制作り に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度における当該事業分野の売上高は12,762,853千円（前期比18.5%増）、セグメント利益は1,060,457千円（同6.4%増）となりました。

#### <ゲーム事業>

ゲーム事業におきましては、株式会社バンダイナムコオンラインが配信する「アイドリッシュセブン」や株式会社バンダイナムコエンターテインメントが配信する「僕のヒーローアカデミア ULTRA IMPACT」等の7本のタイトルの運営と、3本のタイトルの新規開発を行っております。フリーランスを活用し、開発状況に合わせた適切なリソースコントロールに注力しております。

この結果、当連結会計年度における当該事業分野の売上高は2,896,010千円（前期比10.9%減）、セグメント利益は121,198千円（同78.5%減）となりました。

<Seed Tech事業>

Seed Tech事業におきましては、日本とフィリピンに拠点を構え、拠点間の強固な連携でIT人材の育成を軸にした事業展開を行っております。SaaS型DX/IT人材育成サービス「ソダテク」の提供や、フィリピンセブ島へのIT留学事業、オフショア開発受託事業を行っております。

この結果、当連結会計年度における当該事業分野の売上高は176,053千円（前期比51.5%増）、セグメント損失は31,652千円（前期はセグメント損失26,880千円）となりました。

<x-Tech事業>

x-Tech事業におきましては、最先端の技術や手法を活用し、「テクノロジー×データ」で、ビジネスモデル変革のテクノロジーパートナーを目指し、ゴルフ等のスポーツ領域を中心としたデジタルマーケティング支援やD2C支援を行っております。

この結果、当連結会計年度における当該事業分野の売上高は183,346千円（前期比11.1%減）、セグメント利益は39,688千円（同8.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して884,937千円増加し6,409,315千円となりました。これは主に、現金及び預金が397,835千円、売掛金及び契約資産が447,758千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,692,705千円増加し2,042,621千円となりました。これは主に、のれんが1,524,413千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は8,451,936千円となり、前連結会計年度末と比較して2,577,642千円増加しました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して978,396千円増加し2,376,945千円となりました。これは主に、未払費用が172,732千円、未払消費税等が173,407千円、一年以内返済長期借入金が172,008千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して1,631,028千円増加し1,635,913千円となりました。これは主に、長期借入金が1,504,990千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,012,858千円となり、前連結会計年度末と比較して2,609,424千円増加しました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末と比較して31,782千円減少し、4,439,078千円となりました。これは主に、利益剰余金が138,968千円、非支配株主持分が72,171千円増加した一方、自己株式が299,931千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.8%（前連結会計年度末は75.7%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ397,835千円増加し、3,755,033千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加額は、688,038千円となりました。これは主に、仕入債務の増加額102,043千円、売掛金及び契約資産の減少額60,396千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、1,560,893千円となりました（前年同期は68,653千円の支出）。これは主に、子会社株式の取得による支出1,554,330千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は、1,274,450千円となりました（前年同期は91,339千円の支出）。これは主に、長期借入れによる収入1,720,000千円、自己株式の取得による支出299,931千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

長らく先行き不透明な状況が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症が収束に向かうにつれて、経済活動も以前の活発さがみられるようになりました。こうした中で、国内企業におけるIT人材の需要は引き続き安定的に高く推移するものとみています。

2024年3月期の業績につきましては、グローバルに展開するグループ会社間の連携をより活用し、IT人材不足が課題となっている企業に高い技術を持ったフリーランスをシェアリングするIT人材事業、リスクリングサービスによって組織内からのIT人材創出を後押しするIT人材育成事業を中心に、更なる成長を見込んでおります。引き続き、日本のIT人材不足を解決する会社となるために戦略的に事業展開してまいります。

次期の業績見通しにつきましては、売上高は28,000百万円（前期比75.0%増）、営業利益は700百万円（前期比18.8%増）、経常利益は680百万円（前期比19.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は360百万円（前期比47.4%増）を見込んでおります。

(単位：千円)

	当会計年度 (実績)	翌会計年度 (業績予想)	対前期増減率 (%)
売上高	15,997,838	28,000,000	75.0%
IT人材事業（国内）	12,762,853	15,000,000	17.5%
IT人材事業（海外）（注1）	—	10,000,000	—
Seed Tech事業	176,053	300,000	70.4%
G2 Studios事業（注2）	2,896,010	2,550,000	△11.9%
その他（注3）	183,346	150,000	△18.2
調整額	△20,425	—	—
営業利益	589,410	700,000	18.8%
IT人材事業（国内）	1,060,457	1,140,000	7.5%
IT人材事業（海外）（注1）	—	0	—
Seed Tech事業	△31,652	△30,000	—
G2 Studios事業（注2）	121,198	100,000	△17.5%
その他（注3）	39,688	30,000	△24.4%
全社費用及び調整額	△600,280	△540,000	—
EBITDA	651,393	900,000	38.2%
経常利益	567,920	680,000	19.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	244,215	360,000	47.4%

(注1) IT人材事業（海外）の業績は、想定為替レートを豪1ドル=85円として日本円換算しております。

(注2) 2024年3月期より、従来のゲーム事業をG2 Studios事業へ名称変更いたします。

(注3) 2024年3月期より、従来のx-Tech事業をその他セグメントへと変更いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,357,198	3,755,033
売掛金及び契約資産	2,027,272	2,475,031
仕掛品	5,827	4,139
貯蔵品	467	340
前渡金	8,456	11,274
前払費用	78,283	80,420
その他	49,635	97,429
貸倒引当金	△2,763	△14,354
流動資産合計	5,524,378	6,409,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,097	11,205
車両運搬具（純額）	-	805
工具、器具及び備品（純額）	5,260	9,695
リース資産（純額）	17,187	105,095
有形固定資産合計	24,545	126,800
無形固定資産		
商標権	-	1,450
ソフトウェア	581	866
のれん	-	1,524,413
無形固定資産合計	581	1,526,729
投資その他の資産		
投資有価証券	129,782	80,425
敷金及び保証金	112,759	126,595
長期前払費用	3,028	2,212
繰延税金資産	67,219	86,425
その他	12,000	93,431
投資その他の資産合計	324,789	389,090
固定資産合計	349,916	2,042,621
資産合計	5,874,294	8,451,936



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,033,545	1,139,927
未払金	98,741	250,135
未払費用	51,177	223,910
未払法人税等	101,752	193,675
未払消費税等	54,407	227,814
預り金	34,906	68,901
契約負債	9,591	23,675
リース債務	14,255	54,009
一年以内返済長期借入金	-	172,008
その他	171	22,887
流動負債合計	1,398,549	2,376,945
固定負債		
リース債務	3,252	121,996
長期借入金	-	1,504,990
繰延税金負債	-	1,619
資産除去債務	-	3,949
その他	1,631	3,357
固定負債合計	4,884	1,635,913
負債合計	1,403,433	4,012,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,101,531	1,109,972
資本剰余金	1,051,474	1,059,915
利益剰余金	2,314,803	2,453,772
自己株式	△21,252	△321,184
株主資本合計	4,446,556	4,302,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	7,348
為替換算調整勘定	△2,426	△13,938
その他の包括利益累計額合計	△2,426	△6,589
新株予約権	26,718	71,007
非支配株主持分	12	72,183
純資産合計	4,470,860	4,439,078
負債純資産合計	5,874,294	8,451,936

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	14,340,774	15,997,838
売上原価	11,557,310	12,999,123
売上総利益	2,783,463	2,998,714
販売費及び一般管理費	1,649,767	2,409,304
営業利益	1,133,696	589,410
営業外収益		
受取利息	43	40
業務受託収入	500	600
補助金収入	2,540	-
為替差益	1,054	-
その他	338	399
営業外収益合計	4,475	1,039
営業外費用		
支払利息	127	2,405
為替差損	-	19,844
株式交付費	842	-
コミットメントフィー	1,495	279
営業外費用合計	2,465	22,529
経常利益	1,135,706	567,920
特別損失		
投資有価証券評価損	30,080	59,949
特別損失合計	30,080	59,949
税金等調整前当期純利益	1,105,626	507,970
法人税、住民税及び事業税	266,029	227,826
法人税等調整額	134,400	35,869
法人税等合計	400,429	263,695
当期純利益	705,197	244,275
非支配株主に帰属する当期純利益	3	59
親会社株主に帰属する当期純利益	705,194	244,215

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	705,197	244,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	7,348
為替換算調整勘定	△1,353	△11,881
その他の包括利益合計	△1,353	△4,533
包括利益	703,843	239,743
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	703,842	240,054
非支配株主に係る包括利益	1	△311

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,094,214	1,044,157	1,714,342	△21,155	3,831,559	△1,073	-	△1,073	-	10	3,830,496
当期変動額											
新株の発行	7,317	7,317			14,634						14,634
剰余金の配当			△104,733		△104,733						△104,733
親会社株主に帰属する当期純利益			705,194		705,194						705,194
自己株式の取得				△97	△97						△97
新株予約権の発行									29,875		29,875
新株予約権の失効									△3,156		△3,156
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	△1,353	-	△1,353	-	1	△1,351
当期変動額合計	7,317	7,317	600,460	△97	614,997	△1,353	-	△1,353	26,718	1	640,364
当期末残高	1,101,531	1,051,474	2,314,803	△21,252	4,446,556	△2,426	-	△2,426	26,718	12	4,470,860

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,101,531	1,051,474	2,314,803	△21,252	4,446,556	△2,426	-	△2,426	26,718	12	4,470,860
当期変動額											
新株の発行	8,441	8,441			16,883						16,883
剰余金の配当			△105,246		△105,246						△105,246
親会社株主に帰属する当期純利益			244,215		244,215						244,215
自己株式の取得				△299,931	△299,931						△299,931
新株予約権の発行									50,116		50,116
新株予約権の失効									△5,828		△5,828
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	△11,511	7,348	△4,162		72,171	68,008
当期変動額合計	8,441	8,441	138,968	△299,931	△144,079	△11,511	7,348	△4,162	44,288	72,171	△31,782
当期末残高	1,109,972	1,059,915	2,453,772	△321,184	4,302,476	△13,938	7,348	△6,589	71,007	72,183	4,439,078

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,105,626	507,970
減価償却費	66,485	17,695
株式報酬費用	26,718	44,288
投資有価証券評価損益 (△は益)	30,080	59,949
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	190	10,823
受取利息及び受取配当金	△43	△40
支払利息	127	2,405
補助金収入	△2,540	-
株式交付費	842	-
為替差損益 (△は益)	-	19,844
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△507,949	60,396
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,111,603	1,815
仕入債務の増減額 (△は減少)	174,691	102,043
契約負債の増減額 (△は減少)	△1,137,077	13,096
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△90,398	41,650
その他	122,650	2,511
小計	901,008	884,451
利息及び配当金の受取額	43	40
利息の支払額	△127	△2,539
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△534,256	△193,913
その他	2,540	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>369,207</b>	<b>688,038</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△49,950	-
有形固定資産の取得による支出	△23,103	△6,483
無形固定資産の取得による支出	-	△1,500
敷金及び保証金の回収による収入	144,072	2,414
敷金及び保証金の差入による支出	△87,753	△1,294
資産除去債務の履行による支出	△39,920	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,554,330
その他	△12,000	299
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△68,653</b>	<b>△1,560,893</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	1,720,000
長期借入金の返済による支出	-	△43,002
リース債務の返済による支出	△1,314	△14,571
株式の発行による収入	14,634	16,883
自己株式の取得による支出	△97	△299,931
配当金の支払額	△104,561	△104,927
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△91,339</b>	<b>1,274,450</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,711	△3,759
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	207,502	397,835
現金及び現金同等物の期首残高	3,149,695	3,357,198
現金及び現金同等物の期末残高	3,357,198	3,755,033

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(取得による企業結合)

当社は、2022年11月10日開催の取締役会において、豪州のIT人材サービス事業を行うLaunch Group Holdings Pty Ltd(所在地:オーストラリア、以下「Launch」という。)の株式を70%取得し、Launchとその子会社Launch Recruitment Pty Ltdを当社の連結子会社とすることについて決議し、同日付けで株式譲渡契約を締結しました。当契約に基づき、2023年1月16日に当該株式を譲り受けました。

### (1) 企業結合の概要

#### ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称:Launch Group Holdings Pty Ltd(純粋持株会社)

事業の内容 :IT人材特化型の人材サービス事業

MSP事業(顧客の人材調達から管理までの一連のプロセスの包括的管理システムを提供する事業)

#### ② 企業結合を行った主な理由

当社は、「21世紀で最も感動を与えた会社になる」ことをグランドビジョンに掲げ、IT人材領域における技術リソースシェアリングエージェントや、グループ会社においてDX・IT人材育成事業を展開しております。

また、2022年3月期に策定した中期経営計画「G100」(2022年3月期～2025年3月期)においては、中長期的な成長を達成するための重要戦略として事業シナジーを創出することを目的としたM&Aを掲げております。2006年に設立されたLaunch社は、オーストラリアにおいてカジュアル雇用人材やフリーランスを活用したIT人材特化型の人材サービス事業、MSP事業(顧客の人材調達から管理までの一連のプロセスの包括的管理システムを提供する事業)を展開しております。大手企業との継続的な取引実績を持ち、取引を拡大しながら成長しております。

こうした中、本件株式取得によって、当社グループは、APAC(アジア太平洋)域内でクロスボーダーのマッチング及びIT人材育成ビジネスが可能となり、加速度的な事業拡大を追求できるものと考えております。IT人材領域を軸とした技術リソースシェアリングエージェントの拡大と進化を目指す当社グループ戦略に沿ったM&Aであり、企業価値の向上に資するものであると判断し、本件株式取得を決定いたしました。

#### ③ 企業結合日

2023年1月16日(みなし取得日2023年1月1日)

#### ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

#### ⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

#### ⑥ 取得した議決権比率

70.0%

#### ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

(2) 連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業のみなし取得日を2023年1月1日としており、当連結会計年度は貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれていません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価（現金及び預金）	1,701,357千円
取得原価	1,701,357千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 119,149千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

1,524,413千円

なお、上記の金額は、企業結合日以後、決算日までの期間が短く、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定ならびに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力です。

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債額並びにその主な内訳

流動資産	694,005千円
固定資産	240,334千円
資産合計	934,339千円
流動負債	570,276千円
固定負債	123,697千円
負債合計	693,973千円

(7) 企業結合が当連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度末の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

当連結会計年度における概算額の算定が困難であるため、記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために当社の取締役会に定期的に報告される対象となっているものです。

当社グループは子会社6社を含む全4事業で構成されており、「IT人材事業」、「ゲーム事業」、「Seed Tech事業」、「x-Tech事業」の4つを報告セグメントとしています。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

「IT人材事業」は主にITフリーランスと企業とのマッチングサービスを提供しております。「ゲーム事業」は主にスマートフォンゲームの受託開発、受託運営を行っております。「Seed Tech事業」は主にオンデマンド型プログラミングスクールサービスとオフショア受託開発を行っております。「x-Tech事業」はゴルフ等のスポーツ領域を中心とした、デジタルマーケティング支援を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、管理区分を見直したことにより、AR(拡張現実)などを駆使したアプリや映像制作を行う事業について、従来の「x-Tech事業」から「ゲーム事業」へ変更しております。これに伴い、前連結会計年度の報告セグメント区分を同様に変更しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部売上高及び振替高は第三者間取引価格に基づいています。



3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結損益 計算書 (注) 2
	IT人材 事業	ゲーム 事業	Seed Tech 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	10,766,569	3,251,697	116,194	206,313	14,340,774	-	14,340,774
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,766,569	3,251,697	116,194	206,313	14,340,774	-	14,340,774
セグメント利益 又は損失(△)	996,534	562,443	△26,880	36,627	1,568,725	△435,029	1,133,696

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△435,029千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△466,529千円及びセグメント間消去取引31,500千円が含まれております。
2. セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及び負債の金額は、事業セグメントに配分していないため、開示しておりません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結損益 計算書 (注) 2
	IT人材 事業	ゲーム 事業	Seed Tech 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	12,755,089	2,896,010	163,391	183,346	15,997,838	-	15,997,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,763	-	12,662	-	20,425	△20,425	-
計	12,762,853	2,896,010	176,053	183,346	16,018,263	△20,425	15,997,838
セグメント利益 又は損失(△)	1,060,457	121,198	△31,652	39,688	1,189,690	△600,280	589,410

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△600,280千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△637,480千円及びセグメント間消去取引37,200千円が含まれております。
2. セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及び負債の金額は、事業セグメントに配分していないため、開示しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	422.26円	416.94円
1株当たり当期純利益	67.18円	23.20円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	66.17円	22.99円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	705,194	244,215
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(千円)	705,194	244,215
期中平均株式数(株)	10,497,369	10,524,644
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	705,194	244,215
普通株式増加数(株)	159,793	95,803
(うち新株予約権(株))	(159,793)	(95,803)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含まれな かった潜在株式の概要	2021年8月26日開催の取締役会 決議による新株予約権2種 (新株予約権の数1,270個)	2021年8月26日開催の取締役会 決議による新株予約権2種 (新株予約権の数1,170個) 2023年1月26日開催の取締役会 決議による新株予約権1種 (新株予約権の数650個)

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,470,860	4,439,078
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	26,730	143,190
(うち新株予約権(千円))	(26,718)	(71,007)
(うち非支配株主持分(千円))	(12)	(72,183)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,444,129	4,295,887
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	10,524,689	10,303,429

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2023年4月25日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。

1. 消却する株式の種類

当社普通株式

2. 消却する株式の総数

301,451株

(消却前の発行済株式総数に対する割合2.84%)

3. 消却予定日

2023年5月31日

(参考)

償却後の発行済株式総数 10,303,429株

償却後の自己株式数 0株

※上記株式数は、2023年3月31日現在の発行済株式総数および自己株式数を基準に算出しています。